

平成25年度

事業報告書

自 平成25年4月 1日
至 平成26年3月31日

愛知県公立大学法人

I 大学の概要

(1) 現況

① 法人名

愛知県公立大学法人

② 所在地

長久手市茨ヶ廻間 1 5 2 2 番 3

③ 役員の状況

理事長 笹津 恭 士

副理事長 2 名

理事 3 名

監事 2 名

④ 大学の概要

○ 学部等の構成

・愛知県立大学

(学部)

外国語学部、日本文化学部、教育福祉学部、看護学部、情報科学部

(研究科)

国際文化研究科、人間発達学研究科、看護学研究科、情報科学研究科

(全学教育研究組織)

入試・学生支援センター、教育支援センター、教養教育センター、

学術研究情報センター、地域連携センター、看護実践センター

・愛知県立芸術大学

(学部)

美術学部、音楽学部

(研究科)

美術研究科、音楽研究科

(全学教育研究組織)

芸術教育・学生支援センター、芸術創造センター、芸術情報センター、芸術資料館

○ 学生数及び教職員数（平成25年5月1日現在）

・愛知県立大学（新・旧）

学部学生 3, 348名

大学院学生 225名

教員 213名

・愛知県立芸術大学

学部学生 830名

大学院学生 190名

教員 87名

・法人事務局

職員 178名

(2) 大学の基本的な目標等

① 愛知県立大学

愛知県立大学は、21年4月に愛知県立大学と愛知県立看護大学を統合するとともに、学部学科再編を行い、「豊かな人間性と高い知性を備え、かつ、国際性、創造性及び実践力に富む有為な人材を育成する」ことを目指した新しい愛知県立大学としてスタートした。教育研究基盤を強化した新しい中規模複合大学として、知の拠点を形成し、地域社会及び国際社会に貢献する人材の育成を目指して、教育・研究・地域連携を推進することとし、愛知県立大学の理念を次のとおりとする。

○ 愛知県立大学の理念

- 1 21世紀の「知識基盤社会」において、知的探究心を燃やす研究者と学生が相互に啓発し合いながら「知の拠点」を目指す。
- 2 「地方分権の時代」において期待の高まる公立大学として、良質の研究とこれに裏付けされた良質の教育を行い、その成果を地域社会と国際社会に還元する。
- 3 自然と人間の共生、科学技術と人間の共生、人間社会における様々な人々や文化の共生を含む「成熟した共生社会」の実現を目指して、教育研究と地域連携を進める。

② 愛知県立芸術大学

芸術は、太古から人間の暮らしに潤いを与え続け、常に人間の歴史とともにあった。人間は、芸術によって、自己を革新し、硬直する人間の思考を柔軟なものにしてきた。そして、優れた芸術は人間に知的な飛躍をもたらすものである。

愛知県立芸術大学は、独自の豊かな文化・芸術の伝統が育まれてきた愛知県に創設された「芸術の場」であり、当地域の芸術文化を育み、県内外に発信していくことが求められている。そのため本学は、開学以来培ってきた歴史を継承し、さらに発展させていく必要がある。

愛知県立芸術大学は、個性的で魅力ある大学として、また、愛知が生んだ芸術文化の拠点として、国際的にも開かれた芸術文化の核となることを目指し、大学の理念を次のとおりとする。

○ 愛知県立芸術大学の理念

- 1 学部から大学院までの一貫した教育研究体制をとることにより、芸術家、研究者、教育者など芸術文化に携わる優れた人材の育成を目指す。
- 2 広い視野を持った高度な芸術教育を通して、国際的な芸術文化の創造の核となることを目指す。
- 3 教育・産業・生活文化など様々な分野で本学の持つ芸術資源を有効に活用し、地域社会と連携して、芸術文化の発展に貢献することを目指す。

II 平成25年度事業実績

第二期中期計画期間の初年度となる平成25年度においては、同計画達成に向け、次のような事項に重点的に取り組んだ。

1 大学の教育研究等の質の向上

1-1 愛知県立大学

(1) 教育

- 入学者選抜
 - ・看護学部特別入試試験科目への英語導入（H27～）を決定
 - ・国際文化研究科国際文化専攻博士前期課程の募集人員見直し
 - ・学生主体のオープンキャンパスの実施
- 学部・大学院教育
 - ・教養教育センターの設置、教養教育新カリキュラムの策定
 - ・iCoToBa（多言語学習センター）の運用開始
 - ・外国語学部におけるコース制導入（H26～）の決定
 - ・グローバル人材育成推進事業の推進による協定校の拡大及び単位認定留学の拡大
 - ・情報科学部の新たな3コースの名称・新カリキュラムの策定
 - ・国際文化研究科国際文化専攻における高度専門職業人コース導入（H27～）の決定
- 学生への支援
 - ・ワンストップサービス体制等の実現に向けた学生支援課の一室化や学務課のレイアウト変更
 - ・留学前から留学後までの指導体制の強化や受入プログラムの整備など留学生派遣・受入態勢の整備
 - ・サテライトキャンパスにおける臨時相談員配置など、キャリア相談体制の強化
 - ・臨床心理士の増員によるカウンセリング対応時間の拡大

(2) 研究

- ・愛知県総合教育センター等との連携による研究を実施
- ・受託研究・共同研究の推進
- ・科学研究費補助金への申請を促進（78.2%→87.4%）

(3) 地域連携・貢献

- ・ESDパートナーシップ事業「はじめてのインドネシア講座」を実施
- ・愛知県「知の拠点」における「超早期診断技術開発プロジェクト」への参画
- ・名古屋市立大学との連携による公開講座・特別展示の実施

1-2 愛知県立芸術大学

(1) 教育

- 入学者選抜
 - ・デザイン専攻以外の美術学部社会人特別入試の取りやめを決定
- 学部・大学院教育
 - ・チェンマイ大学及びエジンバラ芸術大学から留学生を受け入れ、学生交流を実施
 - ・アーティスト・イン・レジデンス事業を通じた専門・実技教育を実施
 - ・両学部・大学院の連携によるオペラ公演の実施
- 学生への支援
 - ・新音楽学部棟の供用開始（H25.9月～）

- ・ 留学・国際交流事業に関する情報発信の強化、国際交流室の設置
- ・ 個別就職相談の強化、キャリア支援室の設置
- ・ 臨床心理士によるカウンセリング相談日の拡大

(2) 研究

- ・ 受託研究・共同研究の推進
- ・ ハンブルグ音楽大学等への教員の派遣、同大でのレクチャーやコンサートの実施
- ・ 科学研究費補助金、その他助成金への申請を促進

(3) 地域連携・貢献

- ・ あいちトリエンナーレ 2013 や瀬戸内国際芸術祭への参画
- ・ 栄サテライトギャラリーにて展覧会等を開催（入場者数 H24:2,941 人→H25 : 3,622 人）
- ・ 文化財保存修復研究所設立に向けた検討

2 法人運営の改善

- ・ 理事長提示の年度方針に基づく各部重点施策の策定と運営
- ・ 年度計画に重点を置いた予算編成の推進
- ・ 事務の集中・集約化に向けた施設整備課の新設、組織改編案（H26.7月～）の策定
- ・ 法人固有職員への切り替えを促進（H24 : 50.9%→H25 : 56.2%）

3 財務内容の改善

- ・ 受託研究費や科学研究費補助金等を含めた外部資金の獲得

[単位：件／千円]

区分	年度	県立大学		芸術大学	
		件数	金額	件数	金額
奨学寄附金	24	9	5,550	9	6,700
	25	9	11,600	6	3,400
受託研究費	24	2	1,747	3	7,670
	25	1	210	4	6,666
共同研究費	24	8	7,256	0	0
	25	12	9,823	1	5,000
科学研究費補助金等	24	91	105,760	8	8,840
	25	92	141,942	6	7,670
受託事業費等	24	1	500	8	3,682
	25	3	1,782	7	4,168
その他補助金	24	4	114,624	0	0
	25	4	86,441	0	0
計	24	115	235,437	28	26,892
	25	121	251,798	24	26,904

注1) 金額については、当該年度の実受入金額を記載。

注2) 金額については、千円未満を切り捨て。

注3) 科学研究費補助金等については、研究分担者分を除く。

- ・一般管理費比率の減少

	H24	H25
業務費	7,189,503 千円	6,812,729 千円
一般管理費	587,805 千円	528,794 千円
一般管理費比率※	7.6%	7.2%

※一般管理費比率＝一般管理費／（業務費＋一般管理費）（特殊要因除く）

4 自己点検・評価及び情報の提供

- ・学外委員による教養教育外部評価の実施（県立大学）
- ・「創立50周年記念事業委員会」を設置し、記念事業の企画内容等を検討（芸術大学）

5 その他業務運営

- ・芸術大学施設整備に関する県への積極的な働きかけ
- ・県立大学野球場の地域への開放を決定

Ⅲ 予算、収支計画及び資金計画

1 予算

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	4,953	4,828	△125	
自己収入	2,870	2,858	△12	
授業料及び入学検定料収入	2,735	2,722	△13	
雑収入	135	137	2	
受託研究等収入及び寄附金収入	264	169	△95	
前中期計画期間繰越積立金取崩	57	234	177	
計	8,144	8,089	△55	
支出				
業務費	7,714	7,083	△631	
教育研究経費	1,288	1,270	△18	
一般管理費	944	819	△125	
人件費	5,482	4,994	△488	
施設整備費	167	374	207	
受託研究等経費及び寄附金事業費等	264	164	△100	
計	8,144	7,620	△524	

(注) 金額は、百万円未満を四捨五入しておりますので、合計金額と一致しないことがあります。

2 収支計画

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差額 (決算-予算)	備 考
費用の部	7,877	7,383	△494	
経常費用	7,877	7,382	△495	
業務費	6,691	6,253	△438	
教育研究経費	1,167	1,125	△42	
受託研究費等	42	28	△14	
人件費	5,482	5,100	△382	
一般管理費	490	411	△79	
財務費用	48	40	△8	
減価償却費	648	678	30	
臨時損失	0	1	1	
固定資産除却損	0	1	1	
収入の部	7,877	7,798	△79	
経常収益	7,877	7,796	△81	
運営費交付金収益	4,953	4,828	△125	
授業料等収益	2,374	2,464	90	
受託研究収益等	228	136	△92	
財務収益	2	1	△1	
雑益	168	172	4	
資産見返運営費交付金等戻入	122	159	37	
資産見返物品受贈額戻入	30	38	8	
臨時利益	0	1	1	
資産見返物品受贈額戻入	0	1	1	
純利益	0	415	415	
目的積立金取崩	—	43	43	
総利益	0	458	458	

(注) 金額は、百万円未満を四捨五入しておりますので、合計金額と一致しないことがあります。

3 資金計画

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差額 (決算-予算)	備 考
資金支出	17,607	17,664	57	
業務活動による支出	7,466	7,146	△320	
投資活動による支出	9,400	8,738	△662	
財務活動による支出	515	546	31	
次期への繰越金	226	1,234	1,008	
資金収入	17,607	17,664	57	
業務活動による収入	8,081	7,724	△357	
運営費交付金による収入	4,953	4,828	△125	
授業料及び入学検定料による収入	2,735	2,585	△150	
受託研究等収入	188	27	△161	
寄附金収入	36	14	△22	
補助金収入	—	87	87	
その他収入	169	182	13	
投資活動による収入	9,117	7,173	△1,944	
前期よりの繰越金	409	2,767	2,358	

(注) 金額は、百万円未満を四捨五入しておりますので、合計金額と一致しないことがあります。

IV 短期借入金の限度額

該当ありません。

V 重要な財産の譲渡、又は担保に供する計画

該当ありません。

VI 剰余金の使途

該当ありません。